

意見交換会・管内視察報告書（広報広聴委員会）

提出日： 令和6年1月25日

議員名	真田 光夫
日時	令和6年1月22日（月）～1月23日（火）
場所	埼玉県寄居町
相手先	埼玉県寄居町
成果・所感等	
<p>(1) 相手先の意見（聞き取り内容）</p> <p>人口：32,106人、面積：64.25k㎡、予算128億円 高齢者率：34.1%、市議会議員：16人（男性13人、女性3人）（広報委員会：8名、職員5名） 町職員：270人、議会だより：110回、KOE METER：845人</p> <p>「議会だより」とは、経緯を伝えるものと捉えている 優先順位：審議結果だけでなく、審議経過を伝える 当初は「議会改革のツール」で始めた</p> <p>編集方針 読まれない議会だよりは出す意味なし！</p> <p>言葉で伝える 常に読み手を第一に考える</p> <p>写真で伝える 見出しではできるだけ大きく わかりやすく 簡潔でインパクトあるよう</p> <p>QRコードを活用 関連するホームページや資料、動画のリンク</p> <p>動画で伝える 本人のパーソナリティを知ってもらう</p> <p>議員全員で考えるシリーズ 議員全員が「決算・予算、特集」に対しての意見を述べている</p> <p>町民参加 議員の評価だけでなく町民の視点も掲載する KOE METER（声メーター）：一言コメントで800名以上の方に出演してもらっている 取材力＝公聴力＝議員力 アンケート等は全議員で行う</p> <p>政策サイクル：回り続ける政策サイクル 年間の議会の流れと政策サイクルを意識した編集を心がける →予算→議会報告会→監視→決算→議会報告会→定言→ （上記サイクルを回し続ける）</p>	

編集の流れについて

正副委員長と委託業者の打ち合わせ（約 3 時間）

①ラフレイアウト「議論」編集ページ

- 表紙編集の流れ
- 表紙原案①
- 表紙②イメージ
- 表紙③
- 表紙④試し撮り
- 表紙・完成

第 1 回編集会議：議会開会 1 週間前

- 議員全員で考えるシリーズ
- 取材活動、原稿入稿作業
- 本会議一般質問後、3 日以内に提出

第 2 回編集会議

② 議論編集ページ

第 3 回編集会議

- 第 2 回より 1 週間後のページ
- 「議論」編集ページ

役割について

- 議員：取材、原稿、写真
 - 議会事務局：連絡・確認・調整
 - 委託業者：編集・デザイン、各種提案、即時修正
- 業者は、全ての委員会に出ること
- 2 年間毎の契約
 - 印刷・編集
- 令和 5 年度委託料：430 万 5000 円

(2) 意見交換で感じたこと等

まとめ・感想

- ・寄居町では、議会だよりの改革を進めており、議員全員で考えるシリーズや町民参加、KOE METER など様々な取り組みを通じて、議会情報を市民に分かりやすく伝えることに注力している。
- ・議会だよりの編集方針は、読まれないものは出す意味がないというスタンスで、写真や QR コード、動画など様々な手段を活用して情報を伝えている。
- ・役割分担も明確で、議員、議会事務局、委託業者が連携して情報発信を行っている。委託業者は全ての委員会に出ることが義務付けられ、契約は 2 年ごとに行われている。

所感

「議会だより」とは、経緯を伝えるもの。編集方針「読まれない議会だよりは出す意味なし！」と明確なポリシーがあり、議員と議会事務局が一体となり広報活動をしていることが素晴らしいと思います。

寄居町の議会だより改革は、市民との密接な連携と情報伝達の努力が感じられます。議員全員での協力や KOE METER、動画の活用など、多彩な手法が市民とのコミュニケーションに寄与しています。委託業者との連携や役割分担も明確で、議会だよりの制作は組織全体の協力によって進められています。特に、読者志向の編集方針や表紙・写真・QR コードの工夫など、情報を市民に親しみやすく伝えるための工夫がうかがえ、議会と市民との関係構築に積極的です。

一方で、前回の選挙での無投票と低い投票率は課題であり、今後の投票率向上に向けた取り組みが求められます。